

2021年3月期上期 決算説明会

2020年11月20日
シダックス株式会社
(JASDAQスタンダード：4837)

1.決算概況

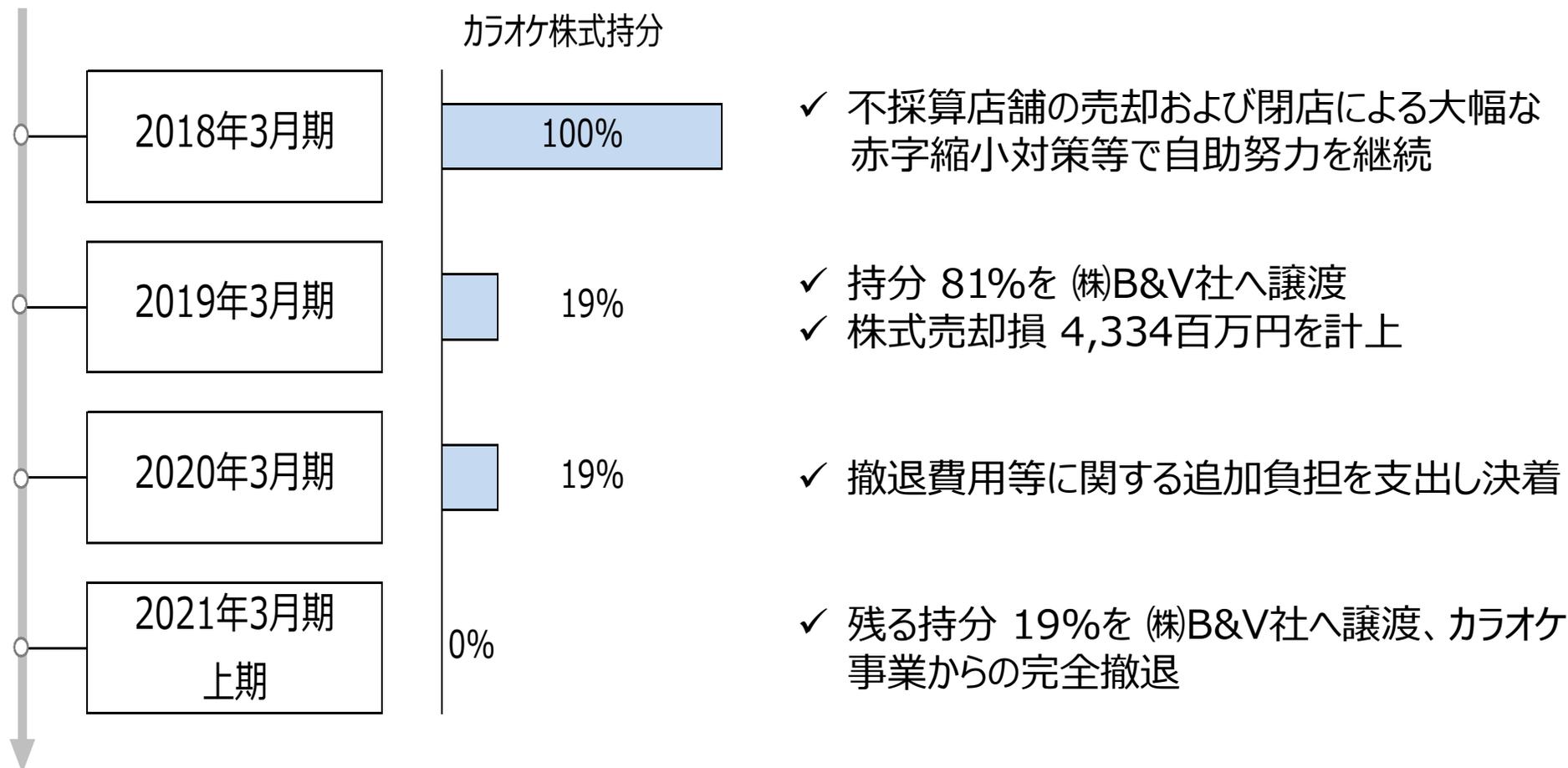
	(百万円)		
	前期 2020年3月期 上期実績	今期 2021年3月期 上期実績	差異 今期-前期
売上高	65,768	53,886	▲11,882
売上総利益	8,766	6,245	▲2,521
(売上総利益率)	(13.3%)	(11.6%)	(▲1.7%)
営業利益	794	109	▲685
(営業利益率)	(1.2%)	(0.2%)	(▲1.0%)
親会社株主に帰属する純利益	▲ 1,703	117	+1,820

注:本資料の数値は、小数点以下切捨てによる計算となっております

2.2021年3月期上期 ハイライト

- カラオケ事業売却に伴う追加損失の最終決着
- 顧客ニーズに応える事業別営業体制への組織変更
- 学童保育事業の飛躍的成長の継続
- ノンコア事業を切り離し、現金創出と純資産の底上げ
- 新型コロナウイルスへの対策進捗

カラオケ事業売却に伴う追加損失の最終決着

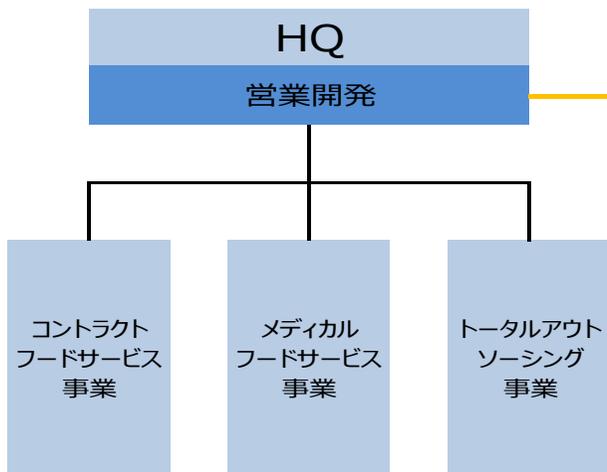


当社グループは、カラオケ事業にまったく関与していないこととなり
今後カラオケ事業に係る追加損失等は一切発生しない見込み

顧客ニーズに応える事業別営業体制

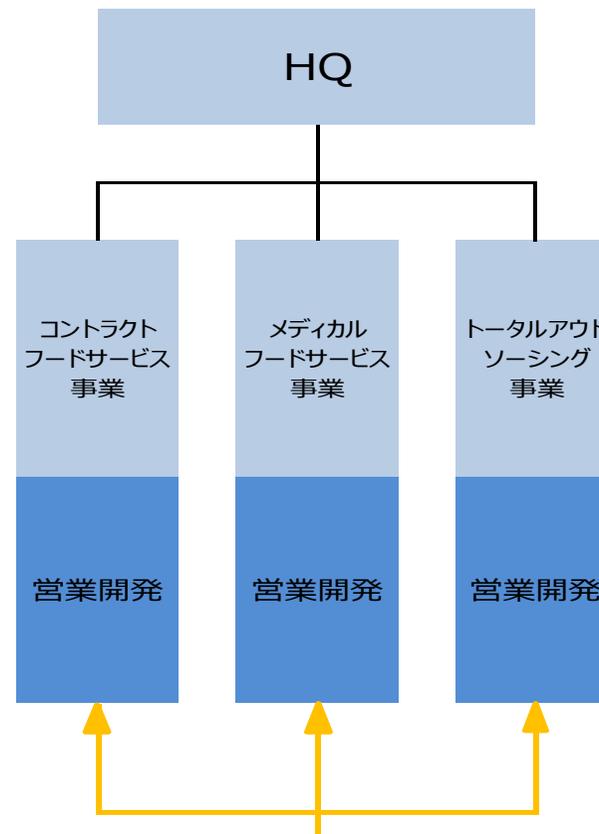
2020年3月まで

HQに集約して複数商材を営業する体制



2020年4月以降

専門分化した上で営業・運営の一体化体制



- HQ集約の営業体制を事業側に移管した上で専門化し、担当商品・エリアの営業戦略を営業・運営一体で策定を行う

学童保育事業の飛躍的成長の継続



学童保育の受託、倍増へ

シダックス、23年に200カ所

シダックスは学童保育の受託を2023年に約2000カ所に倍増させる。学童保育の専門職の新卒採用を強化し、新型コロナウイルス禍に合わせた新たにテレビ電話を使ったイベントなども計画。保護者が安心して子供を任せられる体制を訴え、自治体などからの受託拡大につなげる。

採用競争が激化するなかで短期大学や専門学校への働きかけを強め、保育士の資格を持つ学生をシダックスは新型コロナウイルスに対応し、テレビ電話を活用したイベントを増やす

シダックスは04年に学童保育の受託事業を始め、20年10月で1000カ所を運営する。全国で公立学童保育の民間企業への委託数は約2600カ所あり、同社のシェアは約4割に達する。

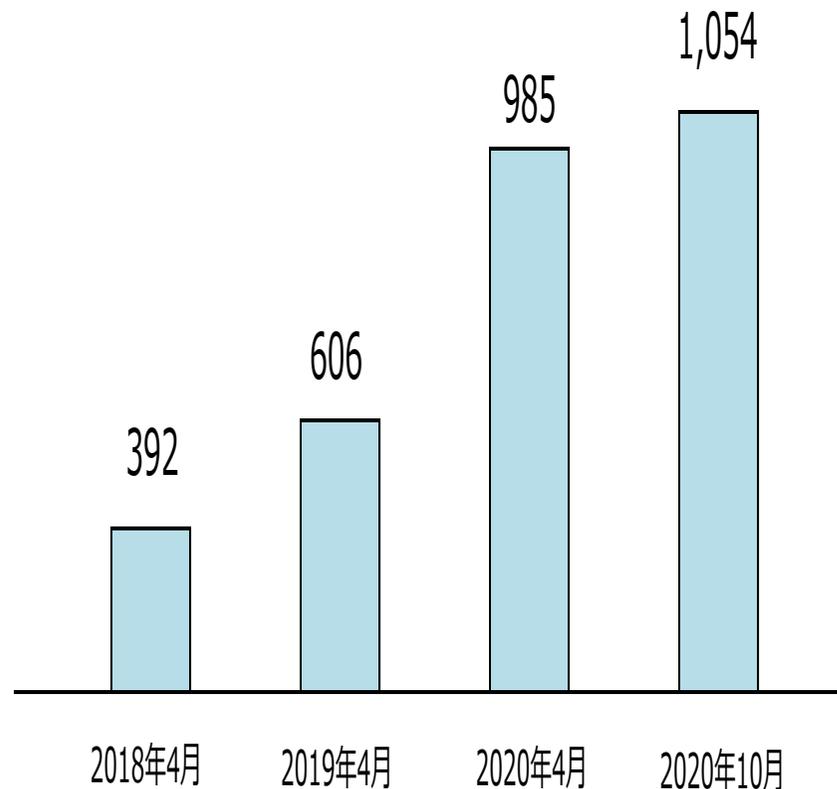
確保する。海外に居住する日本人とテレビ電話でつなぎ海外旅行の気分を味わってもらおうなどコロナ下に対応した独自イベントも拡充する。

シダックスは04年に学童保育の受託事業を始め、20年10月で1000カ所を運営する。全国で公立学童保育の民間企業への委託数は約2600カ所あり、同社のシェアは約4割に達する。

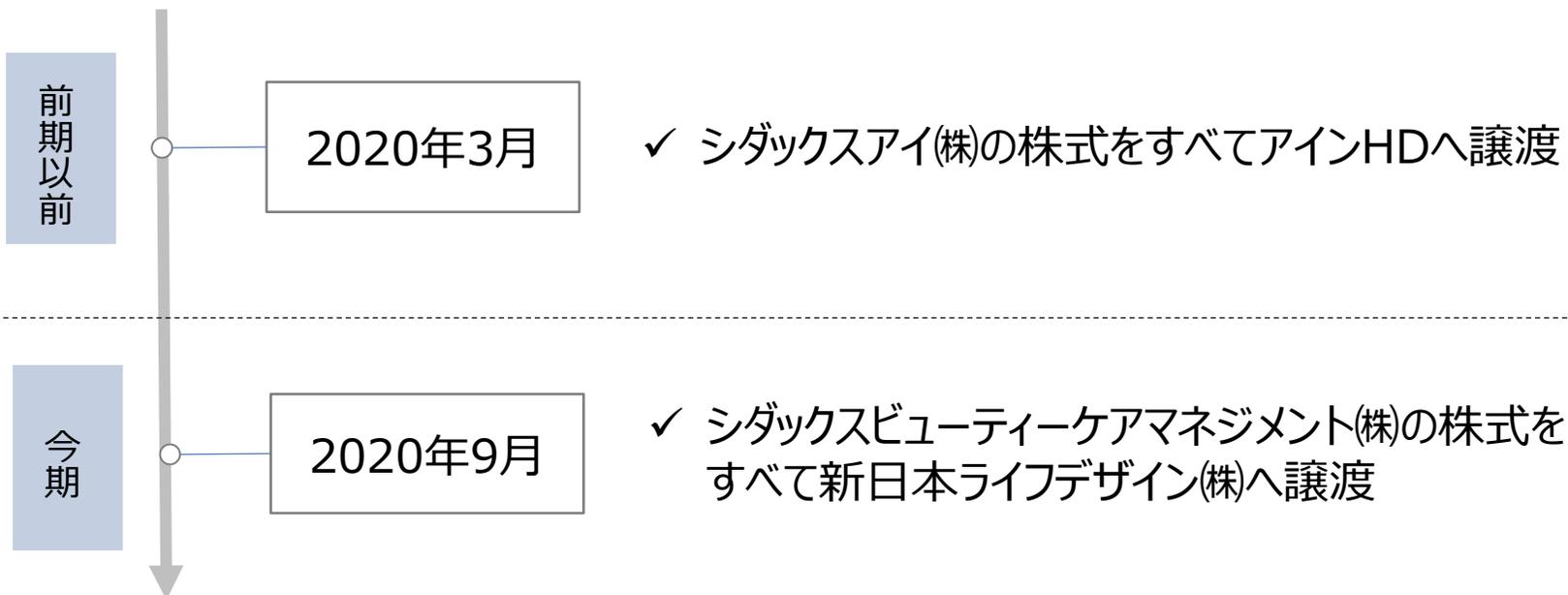
日本経済新聞 2020年10月21日付朝刊

学童保育事業の受託クラス数の推移

35都道府県、102自治体（2020年10月時点）

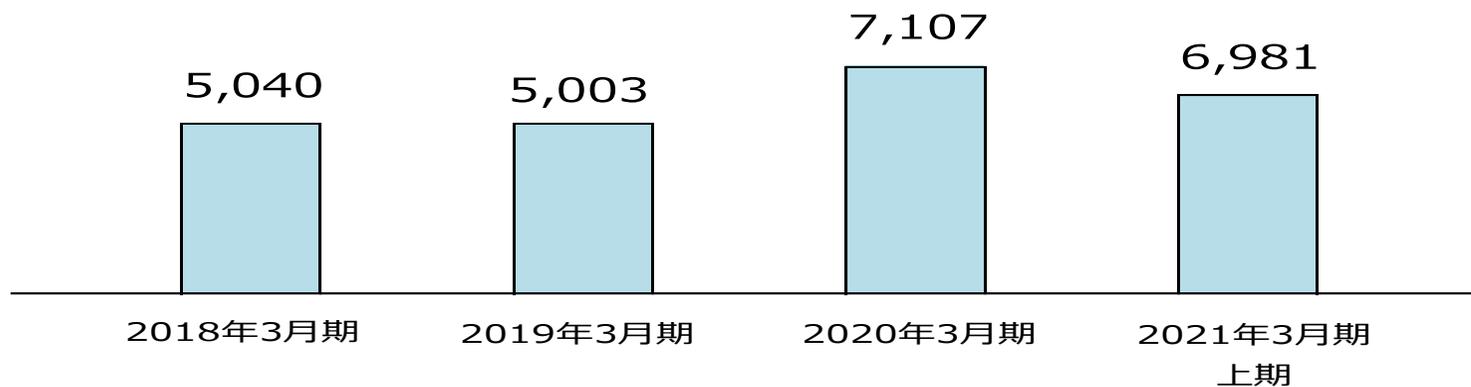


ノンコア事業を切り離し、現金創出と純資産の底上げ



純資産推移

単位：百万円



新型コロナウイルスへの対策進捗

2021年3月期上期の対策

①間接コスト削減・効率化

- ・本部コスト削減による間接費の圧縮

②人材のリソースシフト

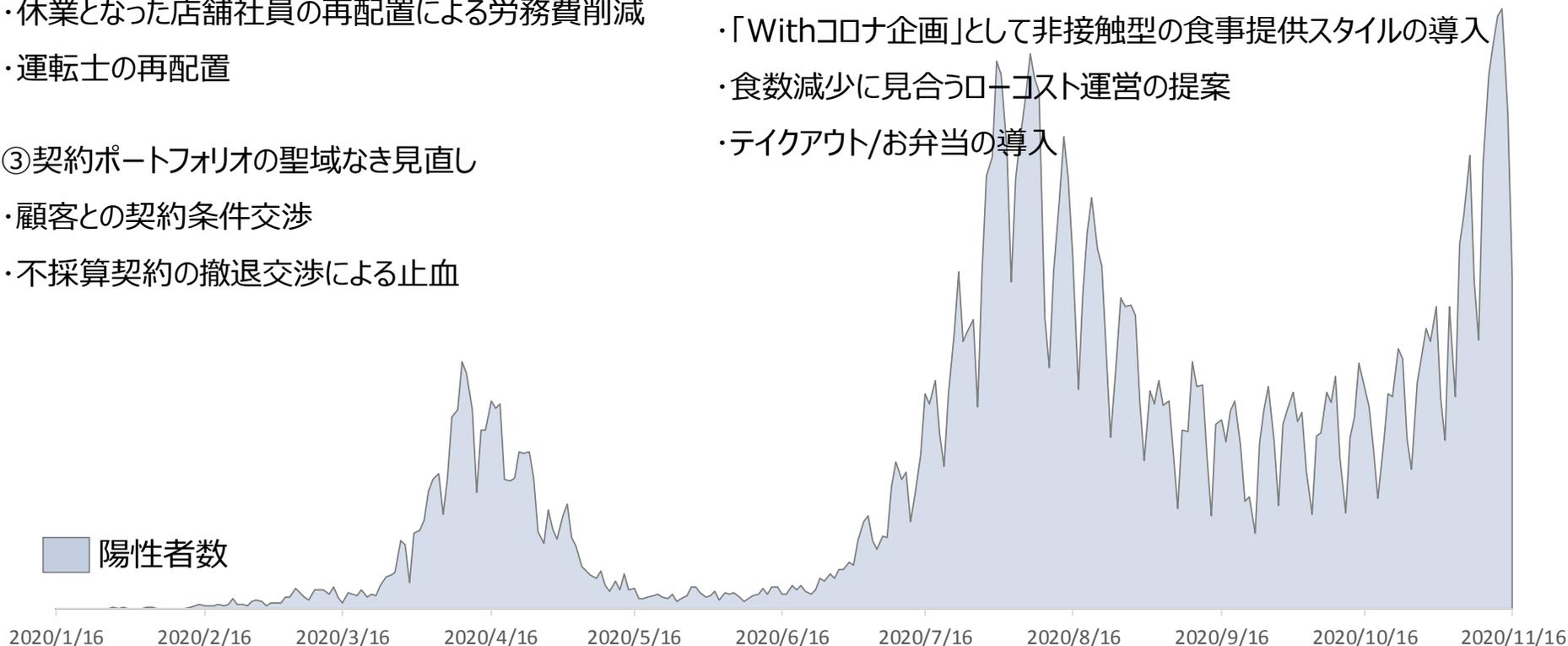
- ・休業となった店舗社員の再配置による労務費削減
- ・運転士の再配置

③契約ポートフォリオの聖域なき見直し

- ・顧客との契約条件交渉
- ・不採算契約の撤退交渉による止血

④外部環境変化への対応と新たな事業機会の捕捉

- ・新しいオフィスの働き方「ニューノーマルワークスタイル」の確立
- ・学童保育事業における延長保育への迅速な対応
- ・「密」を避けるための車両増便の提案
- ・「Withコロナ企画」として非接触型の食事提供スタイルの導入
- ・食数減少に見合うローコスト運営の提案
- ・テイクアウト/お弁当の導入



2021年3月期上期 決算説明会（詳細）

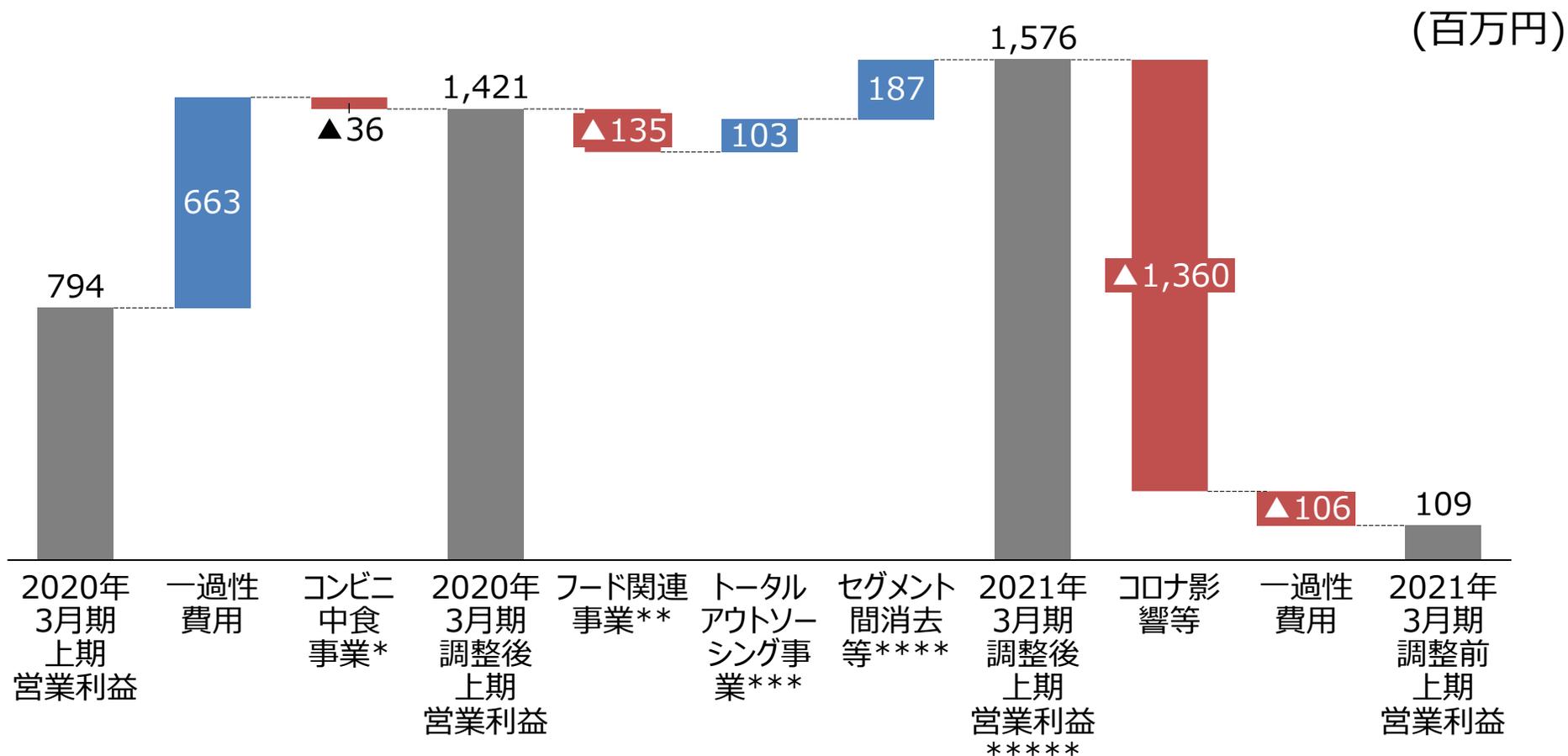
1.決算概況

(a) 連結業績実績

	(百万円)		
	前期 2020年3月期 上期実績	今期 2021年3月期 上期実績	差異 今期－前期
売上高	65,768	53,886	▲11,882
売上総利益	8,766	6,245	▲2,521
(売上総利益率)	(13.3%)	(11.6%)	(▲1.7%)
営業利益	794	109	▲685
(営業利益率)	(1.2%)	(0.2%)	(▲1.0%)
親会社株主に帰属する純利益	▲ 1,703	117	+1,820

1. 決算概況

(b) 前年比主な変動要因



* コンビニ中食事業は前期売却済み

** フード関連事業は、コントラクトフードサービス事業とメディカルフードサービス事業とエスロジックス事業の合算

*** トータルアウトソーシング事業は車両サービスと社会サービス部門で構成

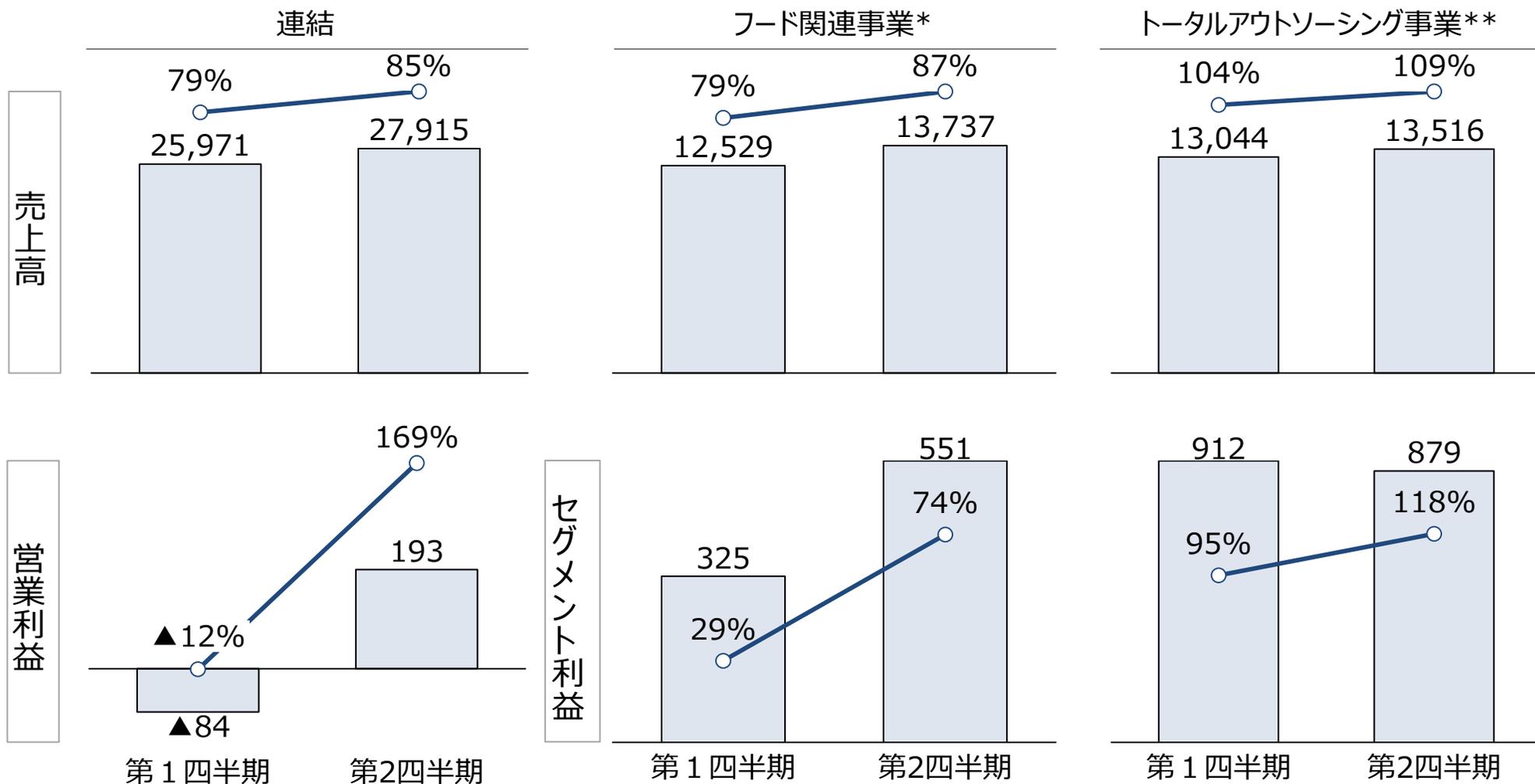
**** セグメント間消去等はその他事業と全社、セグメント間消去の合算

***** 営業体制の組織変更による影響については、変更前の旧セグメントでカウントした

1. 決算概況

(C) 第1四半期・第2四半期

○ 前年同時期比 □ 金額 (百万円)



* フード関連事業は、コントラクトフードサービス事業とメディカルフードサービス事業とエスロジックス事業の合算 (エスロジックス事業の売上高は外部顧客への売上高)

**トータルアウトソーシング事業は車両サービスと社会サービス部門で構成

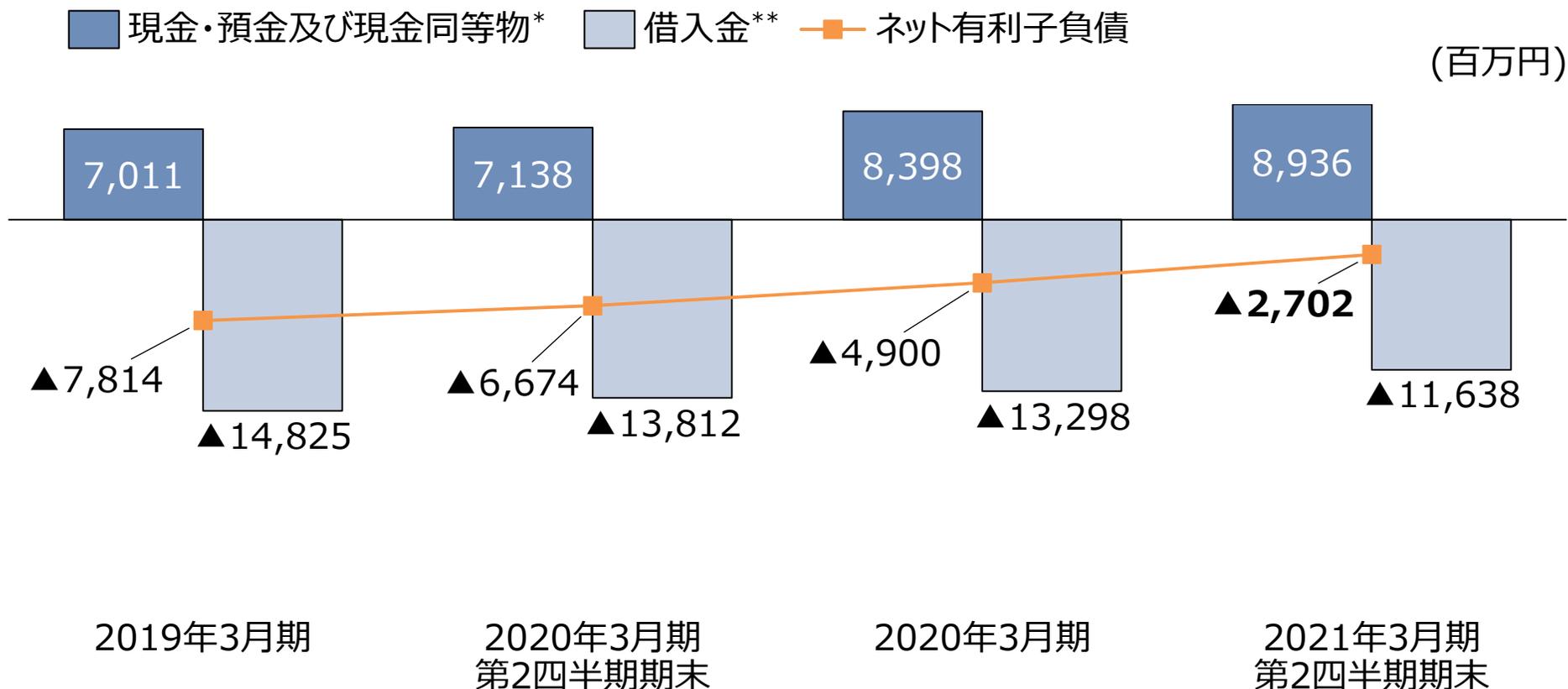
2.財務状況（連結ベース）

(a) 連結財政状態計算書（B/S）関連指標

	2020年3月期 期末	2021年3月期 上期末	(百万円) 前期年度末比
資産	38,084	38,931	+847
純資産	7,107	6,981	▲126
有利子負債残高	13,298	11,638	▲1,660
ネット有利子負債	4,900	2,702	▲2,198
D/Eレシオ(倍)	1.87	1.67	▲0.20
ネットD/Eレシオ(倍)	0.69	0.39	▲0.30
現金及び現金同等物の期末残高	8,398	8,936	+538

2.財務状況（連結ベース）

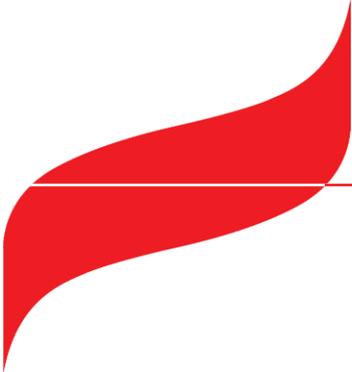
(b) 現預金・借入金残高



ネット有利子負債が順調に圧縮

* 新型コロナウイルス感染症の影響による社会保険料・消費税の納付猶予を含む

**借入金：短期/長期の借入金及びリース債務の合計値

A red decorative graphic element consisting of a curved, flame-like shape on the left side of the page, which transitions into a horizontal line extending across the page.

2021年3月期上期 トピックス

1.2021年3月期上期 トピックス①

従業員送迎バスとしては国内初の次世代型燃料電池バスの運行開始！ ～年間約20トンのCO2削減～



ガソリンスタンドに相当する「水素ステーション」前に停車するバス



災害時には電源としての活用も可能な外部給電システムのキャップ

シダックスグループでは、約4割のシェア（当社調べ）を持つ役員車・公用車をはじめ、貸切バスやデマンドバスなど、全国で日々約3,600台の車両の運行を行っています。

「気候変動に具体的な対策を」（SDGs目標13）を引用するまでもなく、CO2削減は喫緊の課題です。6月より東京・有明地区で開始した従業員様の送迎用バスとして、水素を活用した次世代型燃料電池バスを使用。これは**日本初**の取り組みです。

採用したトヨタの「SORA」はガソリンを一切使用せず、水素と酸素を化学反応させ生まれた電力で走行するため、走行中**CO2は一切排出しません**。これにより、年間で約20トンのCO2削減効果が見込まれます。

また、バス車両には大容量外部給電システムを備えており、災害時には電源としての活用も可能です。

1.2021年3月期上期 トピックス②

郷土料理の提供で、コロナ禍でも旅行気分を ～「完全調理品」で現場負担の軽減や廃棄物・水利用削減効果も～



沖縄「ゴーヤチャンプルー」(左)
福岡「がめ煮」(右)



大分「とり天」(左)
佐賀「魚(ぎよ)ロッケ」(右)

メディカルフードサービス事業では、病院や老人福祉施設、保育園・幼稚園などで食事提供を行っています。

コロナの流行により、喫食者様も旅行などのリフレッシュが難しい環境にあります。そこで、当社の栄養士が監修した全国47都道府県の郷土料理を10月1日から提供。第1弾として、福岡県の「がめ煮」や沖縄県の「ゴーヤチャンプルー」などの、九州・沖縄の料理をお楽しみいただいています。

これらの郷土料理は「完全調理品」と呼ばれる、調味不要でそのままあるいは再加熱するだけで食べられるものです。喫食者様に楽しんでいただだけ、現場負担も軽減、さらには廃棄物・水利用削減効果も得られています。

1.2021年3月期上期 トピックス③

冷凍弁当20,000食の保管を開始 ～新型コロナウイルス感染症対策として緊急時にも即応～



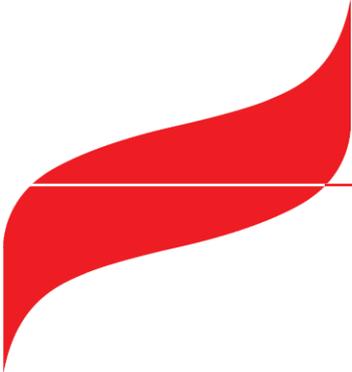
温めるだけで提供が可能な冷凍弁当写真は、一般の方向けの「常菜食」

当社グループ提供する1日720,000食のうち、約3割が病院や介護の施設で提供されています。

入院患者や高齢者向けの食事は、不測の事態であっても提供を止めることはできません。しかし、このコロナの蔓延下においては、病院や高齢者施設内で感染者が発生し、施設への立ち入りが制限されることも十分に想定されます。

このようなときにも即応できるように、食材の一括購買・一元物流を担うエスロジックスのノウハウを活用し、常時20,000食の冷凍食材弁当の保管を開始。

一般の向けの「常菜食」はもとより、長時間煮込むなどして柔らかく作った「軟菜食」、素材の味わい・彩りをそのままにムース状に固めた「ソフト食」などの介護食も常備しており、緊急時でもお食事をお楽しみいただけます。

A red decorative graphic consisting of a curved, flame-like shape on the left side of the page.

2021年3月期上期 Appendix

1. 決算概況

(a) 累計セグメント別業績サマリー

(百万円)

		2020年3月期		2021年3月期			
		上期実績	調整後上期実績 ***	上期実績		調整後上期実績***	
					前年対比		前年対比
コントラクトフードサービス事業	売上高	13,594	13,594	9,653	▲3,941	9,653	▲3,941
	セグメント利益	492	634	▲164	▲656	461	▲173
メディカルフードサービス事業	売上高	15,525	15,525	14,950	▲575	14,950	▲575
	セグメント利益	323	543	316	▲7	421	▲122
トータルアウトソーシング事業*	売上高	24,905	24,905	26,560	+1,655	26,560	+1,655
	セグメント利益	1,703	1,886	1,791	+88	1,990	+103
コンビニエンス中食事業**	売上高	6,960	-	-	▲6,960	-	+0
	セグメント利益	30	-	-	▲30	-	+0
エスロジックス事業	売上高(内部売上高含む)	16,198	16,198	12,666	▲3,532	12,666	▲3,532
	セグメント利益	1,055	1,073	724	▲331	1,233	+160
その他	売上高	2,390	2,390	1,057	▲1,333	1,057	▲1,333
	セグメント利益	▲314	▲294	▲587	▲273	▲281	+13
連結消去等	売上高	▲13,804	▲13,804	▲11,000	+2,804	▲11,000	+2,804
	セグメント利益/営業利益	▲2,495	▲2,421	▲1,971	+524	▲2,248	+173
連結合計	売上高	65,768	58,808	53,886	▲11,882	53,886	▲4,922
	営業利益	794	1,421	109	▲685	1,576	+155

* トータルアウトソーシング事業は車両サービスと社会サービス部門で構成

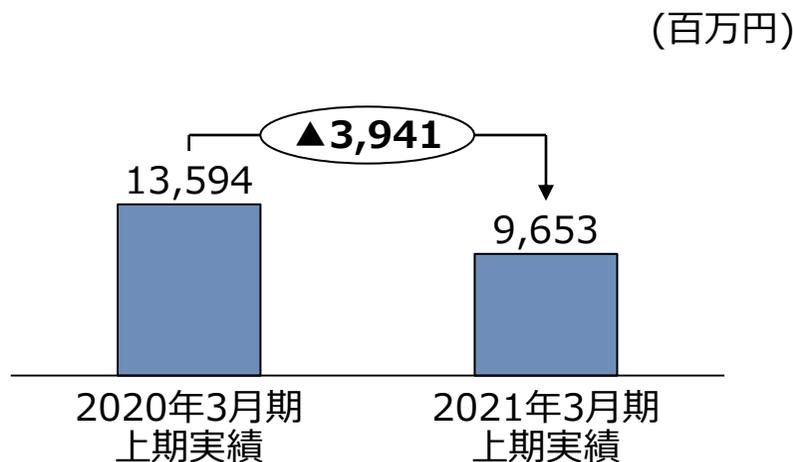
** コンビニエンス中食事業は前期売却済み

*** 2020年3月期の調整内容は一過性費用を控除、2021年3月期の調整内容は営業人員を組織変更前の旧セグメントでカウント、コロナ影響と一過性費用を控除

2.セグメント別業績

(a) コントラクトフードサービス事業

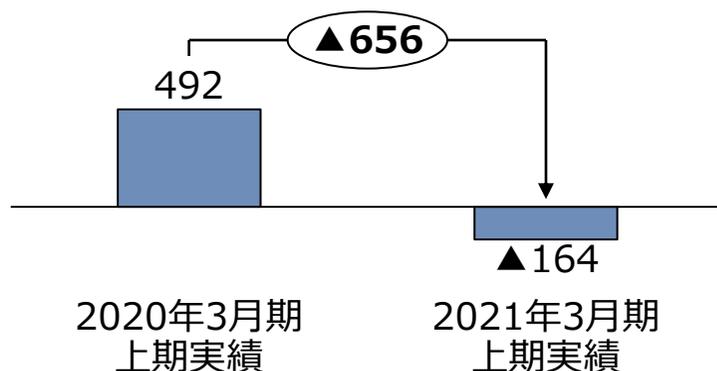
売上高



【売上高】 3,941百万円の減収

- (+) 新規店舗の獲得による売上増加
- (-) 店舗撤退による売上減少
- (-) コロナ影響による減少

セグメント利益



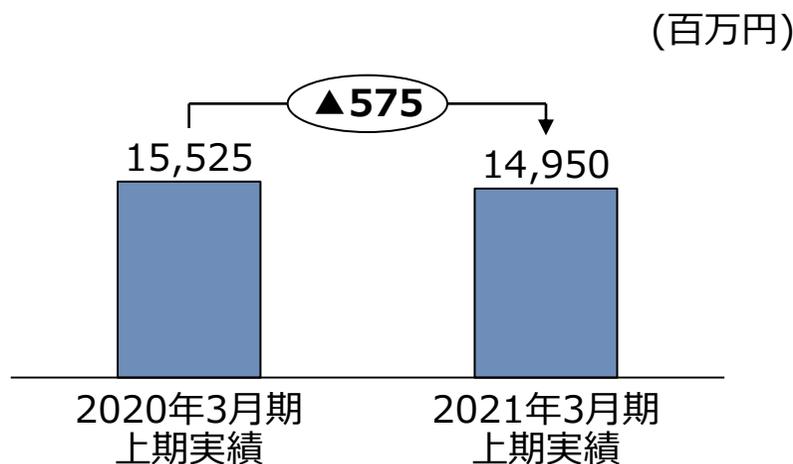
【セグメント利益】 656百万円の減益

- (+) 赤字店の戦略的撤退による利益改善
- (-) 販管費の一部増加
- (-) コロナ影響による減少

2.セグメント別業績

(b)メディカルフードサービス事業

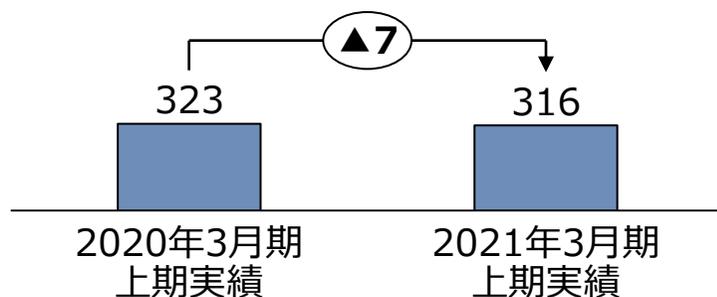
売上高



【売上高】 575百万円の減収

- (+) 新規店舗の獲得による増加
- (-) 店舗の撤退による売上減少

セグメント利益



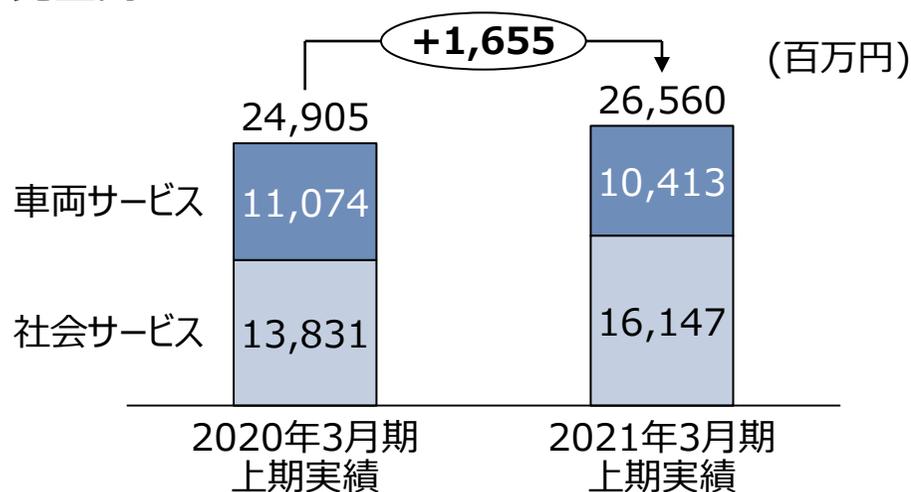
【セグメント利益】 7百万円の減益

- (+) 新規店舗の獲得による利益増加
- (+) 赤字店の戦略的撤退による利益改善
- (-) コロナ影響による減少

2.セグメント別業績

(c)トータルアウトソーシング（車両・社会）事業

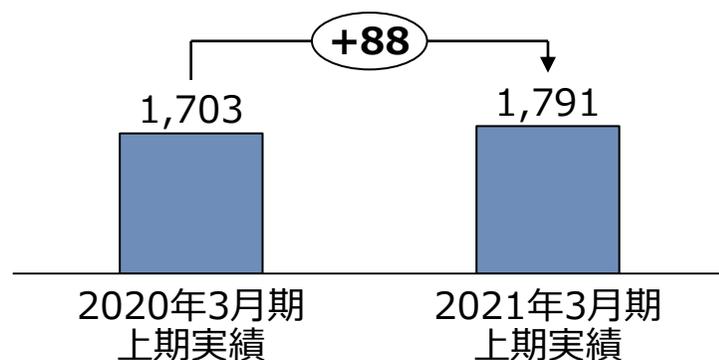
売上高



【売上高】 1,655百万円の増収

- (+)新規獲得による大幅売上増加
※特に学童保育
- (-)コロナ影響による減少

セグメント利益



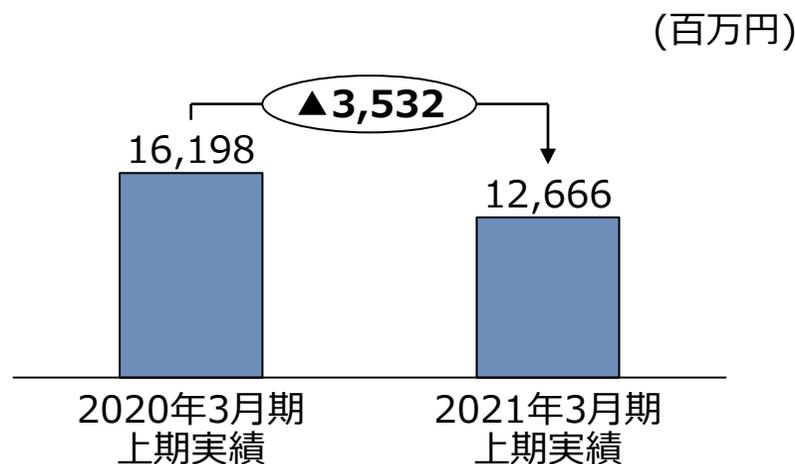
【セグメント利益】 88百万円の増益

- (+)新規獲得による利益増加
- (-)コロナ影響による減少

2.セグメント別業績

(d)エスロジックス事業

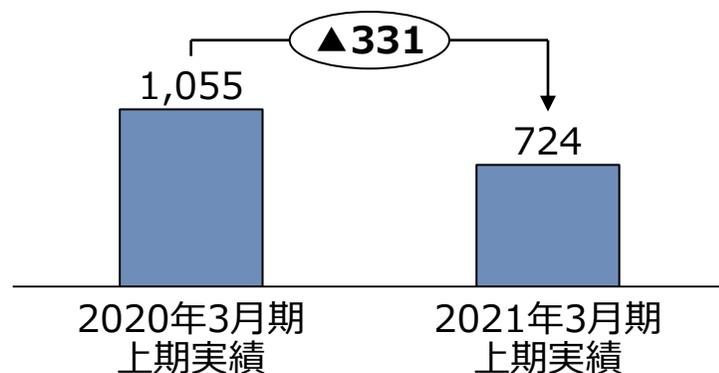
売上高



【売上高】 3,532百万円の減収

- (-) フードサービス事業への内販売上の減少に伴う売上減少
- (-) 外部顧客への食材売上の減少
- (-) コロナ影響による減少

セグメント利益



【セグメント利益】 331百万円の減益

- (-) フードサービス事業への内販売上の減少に伴う利益減少
- (-) 外部顧客への食材売上の減少に伴う利益減少
- (-) コロナ影響による減少

3.データ集

セグメント別店舗数推移表

2019年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		10	3	0	1	0	7	21	0	2	2	4	2	3	34
	減少		11	8	8	2	4	4	37	4	3	4	2	5	13	68
	残	1,212	1,211	1,206	1,198	1,197	1,193	1,196	1,196	1,192	1,191	1,189	1,191	1,188	1,178	1,178
マテリアル	増加		17	0	2	1	4	1	25	3	1	2	0	2	2	35
	減少		0	5	4	1	1	2	13	6	8	0	4	2	24	57
	残	730	747	742	740	740	743	742	742	739	732	734	730	730	708	708
車両管理台数	増加		90	30	16	24	14	20	194	34	7	9	4	8	11	267
	減少		109	19	25	11	17	4	185	27	6	4	8	13	8	251
	残	3,498	3,479	3,490	3,481	3,494	3,491	3,507	3,507	3,514	3,515	3,520	3,516	3,511	3,514	3,514
社会管理人員	増加		1,385	13	36	208	46	2	1,690	81	4	4	23	27	1	1,830
	減少		462	12	106	65	45	58	748	72	18	11	15	4	1	869
	残	8,719	9,642	9,643	9,573	9,716	9,717	9,661	9,661	9,670	9,656	9,649	9,657	9,680	9,680	9,680

2020年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		24	2	4	0	1	2	33	4	5	2	2	1	6	53
	減少		9	7	7	4	3	5	35	3	0	4	1	13	29	85
	残	1,178	1,193	1,188	1,185	1,181	1,179	1,176	1,176	1,177	1,182	1,180	1,181	1,169	1,146	1,146
マテリアル	増加		17	2	0	1	2	0	22	5	1	1	0	0	0	29
	減少		3	8	3	4	0	5	23	0	2	1	1	1	13	41
	残	708	722	716	713	710	712	707	707	712	711	711	710	709	696	696
車両管理台数	増加		99	10	9	17	5	21	161	18	7	7	7	10	1	211
	減少		71	11	7	15	11	9	124	23	16	3	0	4	0	170
	残	3,526	3,554	3,553	3,555	3,557	3,551	3,563	3,563	3,558	3,549	3,553	3,560	3,566	3,567	3,567
社会管理人員	増加		1,262	0	26	69	48	9	1,414	79	2	1	0	0	6	1,502
	減少		290	30	9	15	59	3	406	24	4	4	2	0	16	456
	残	9,680	10,652	10,622	10,639	10,693	10,682	10,688	10,688	10,743	10,741	10,738	10,736	10,736	10,726	10,726

2021年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		16	5	2	1	2	2	28							
	減少		3	2	2	6	1	2	16							
	残	1,146	1,159	1,162	1,162	1,157	1,158	1,158	1,158							
マテリアル	増加		25	0	0	4	1	0	30							
	減少		0	0	3	0	1	0	4							
	残	696	721	721	718	722	722	722	722							
車両管理台数	増加		176	13	10	16	14	20	249							
	減少		128	15	6	17	11	5	182							
	残	3,567	3,615	3,613	3,617	3,616	3,619	3,634	3,634							
社会管理人員	増加		4,213	281	1,189	133	345	285	6,446							
	減少		1,221	139	228	240	169	200	2,197							
	残	10,726	13,718	13,860	14,821	14,714	14,890	14,975	14,975							

4.将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、シダックスグループの財務情報および経営情報の提供を目的としたもので、当社が発行する株式の購入、売却および投資アドバイスを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の責任、判断のもとになされますようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている事項には、当社に関する将来予測や業績予測が記述されていますが、将来の業績を保障するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、異なる可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。
 - ✓ 災害/外部犯罪による企業活動不能リスク
 - ✓ 食中毒/感染症/アレルギー/異物混入によるリスク
 - ✓ 人身/物損事故によるリスク
 - ✓ 役員/従業員の負傷/疾病/死亡によるリスクや雇用/人事における人財確保に向けた採用リスク
 - ✓ 社内不正/犯罪の突発的発生によるお客様や取引先への影響リスク
 - ✓ 契約/法令違反による業務執行停止リスク
 - ✓ 不正アクセス、サイバー攻撃等による知的財産及び個人情報を含む機密情報の漏洩リスク
- 本資料に掲載されている事項または、本資料を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。また、予告なしに情報の掲載中止や変更を行うことがあります。

すべては未来の子どもたちのために



